

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 2コリント 10:5-6
- *賛美 14番 主を知るものみな
- *交読文 43番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 172番 雨をふりそそぎ
- 礼拝のための祈り 関野久美子 伝道師
- 賛美 484番 ころにもだえあらば
- ワシップダンス ゴスペル・ア・ボイス
- メッセージ 目の前の問題を逮捕してイエス様へと連行せよ(ヨハネ 6:5-13)
- 御言葉を適用する祈り.. 会衆一同
- 特別賛美 主を望みましょう 1285
- 幸せと成功の宣言文 ... 会衆一同
- 献金感謝の祈り 吉留淳子 伝道師
- 報告
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

天声教会は

- 御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- 主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- 全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- 受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(ご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____は、さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させ、また、____の従順が完全になるとき、あらゆる不従順を罰する用意ができています。(2コリント 10:5-6)

何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、____の願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、____の心と思いをキリスト・イエスにあつて守ってくれます。(ピリピ 4:6-7)

____が仕えている万軍の主は生きておられます。(1列王記 18:15b)

『イエスは目を上げて、大ぜいの人の群れがご自分のほうに来るのを見て、ピリポに言われた。「どこからパンを買って来て、この人々に食べさせようか。」もっとも、イエスは、ピリポをためてこう言われたのであった。イエスは、ご自分では、しようとしていることを知っておられたからである。』(ヨハネ 6:5-6)

有名な、五つのパンと二匹の魚で五千人以上を養った箇所である。イエス様は、『どこからパンを買って来て、この人々に食べさせようか』と問われた。「買う」は、「買い戻す」という意味もある。イエス様は、あらゆる人の問題に対し、「どこから」買い戻しができるだろうか？ お金の問題、人生の問題、そして罪の問題。。。。それに対する贖い、救いは、一体どこから来るだろうか？

正解は「主から来る」、であるが、ピリポは、イエス様の「どこから」という質問に対し、自分たちで考えうる、金銭的な「いくら」で回答した。「めいめいが少しずつ取るにしても、二百デナリのパンでは足りません。」

私達も、ここに陥りやすい畏がある。彼は目の前に差し迫った問題に、論理的に考えて、計算した。全ての解決の源であられる主を「度外視」して、自分たちの資源だけで計算する思考が、神の民を畏に陥れ、荒野の40年の放浪を引き起こし、ゴリヤテによる40日の侮辱を引き起こした。

このような問題の解決方法が、2コリント 10:5-6 に書いてある。すなわち、私たちの思弁、論理的思考、これらを「捕縛」して、キリストへと服従させ、その従順が完全になる時、一切の不従順は罰される、と。

つまり、このような時の解決方法は、私達のパンの問題、お金の問題、病の問題、人間関係の問題、これら全部を、捕縛して、キリストのところへと引っぱって行き、「イエス様。これらをあなたへと連行して来ました。あとは、あなたが取り扱ってください。」と言って、イエス様へと丸投げする事なのだ。

この時、もう一人の弟子アンデレは、イエス様の元に、わずかなお弁当を持っている少年を連れてきた。彼はとりあえず、パンを持ってる人はいないかな、と探した。その時、小さい少年が、アンデレに声をかけた。「僕、食べ物持ってるよ」。アンデレが「どれ、見せてごらん」と言うと、少年は、「ほら、五つのパンと二匹の魚」。アンデレは「うーん…」と思ったかもしれないが、とりあえず、彼をイエス様へと連れて来た。実はここで、彼は、「問題を捕縛して、キリストの元に連れて来る」という構図を、満たしたのである。

イエス様からのチャレンジを、人の知恵、人間の限界まで最善を尽くして従順し、その結果どうにもならなくなって、イエス様のところへ持って行くなら、あとの全ての物事は、イエス様の支配の手に移る。そして、それがイエス様へと差し出された時、人知をはるかに超える力が、イエス様を通して行使される。

イエス様は、「人々をすわらせなさい。」と言われた。これは、食事の姿勢を取らせる事を意味している。その時点で物理的にあるものは、五つのパンと二匹の魚だけ。弟子たちが人々に、「さあ座って食事の体制を取りなさい」と叫んで回る時、果たしていいのだろうか、と思ったかも知れないが、弟子たちは、従った。

『そこで、イエスはパンを取り、感謝をささげてから、すわっている人々に分けてやられた。また、小さい魚も同じようにして、彼らにほしだけ分けられた。』(11節) なんと、パンと魚の奇跡は、みんなが食べるまで続き、もう分ける必要がなくなったときにこの奇跡は止まったのである。彼らは満腹して、もういい、というまで食べたのだ！！ イエス様はさらに、「余ったパン切れを、一つもむだに捨てないように集めなさい。」と言われ、余ったものを集めてみると、十二のかごが、すなわち弟子たちの数分が、いっぱいになったのだ。

今日、お伝えしたい大事な事は、いかに私達のわずかなお弁当だとしても、イエス様に持って行って捧げるなら、それは大きなものとなって多くの人々を満足させ、働き人の分も、満ち足りる、という事である。

今、私達の目の前にある現実的な問題、お金の問題、仕事の問題、家族の問題、健康の問題、その他の様々な問題に対し、どんなに計算しても「足りない」と思うとしても、それらすべてをとりこにして、イエス様の元へと持って行くなら、イエス様がそれを祝福し、人知をはるかに超えた助けをしてくださるのだ。

イエス様は今生きて働いておられるお方。今日の箇所は、私達に、それをしましょう、と招いておられる。イエス様の偉大なわざを大いに見ていく私達でありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 礼拝 11:30
English Service 14:30

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:00～
水曜礼拝
1部 13:00～
2部 19:00～
金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております
youtube.com/c/横浜天声キリスト教会



〒231-0058

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

大通公園沿い、伊勢佐木警察署の向かいにあり、
1Fがファミリーマートになっております。



天をひらく祈り



Home Page



担任: 林和也牧師 川合ゆきえ牧師 増田高章牧師